

## 令和4年度第2回地域自立支援協議会 専門部会活動報告

### 子ども部会

障がい又は発達に心配のある児童及び家族に対する支援等に関することについて協議する部会

#### <令和4年度方針>

- ・保護者に対して悩みなどを話す場の提供をする
- ・子どもに対する支援をする事業所間が顔の見える関係の構築をすることにより、連携をとりやすい環境を整える
- ・保護者や事業者へ研修を行うことにより、情報発信の場を確保する

#### ○開催（予定）日および実施内容

##### ★部会

第1回 令和4年5月19日（木）9：30～10：30

- ・昨年度事業所部会で作成した「子どもガイドブック」が完成し、市のホームページに掲載したことを報告
- ・今年度の勉強会や茶話会の計画の承認を得た。
- ・部会員が感じる課題を出し合う。

第2回 令和5年3月 開催予定

##### ★小部会（保護者部会）について

特別支援学校や特別支援学級に通う子どもの保護者および発達に不安な子どもをもつ保護者を対象とする

○令和4年7月5日（火）10：30～11：30

○令和4年11月17日（木）9：30～11：30

○令和5年1月19日（木）中止

茶話会形式で、保護者同士情報交換や体験を話し合った。

##### ★小部会（事業所部会）

子どもの支援に関わる障がい福祉サービス事業所職員および児童通所支援サービス事業所の職員を対象とする

○令和4年9月15日（木）

「障がい児事業所としての防災の備え、日頃の取組みについて」市危機管理課職員に話をし頂き、各々事業所の見直しを行った。また、事業所の職員研修をどう企画しているか話し合った。

★子ども部会主催の研修会を開催

○令和4年7月5日（火） 9：30～11：30

「保護者、放課後等デイサービス、タイムケア事業所交流会」

市内の放課後等デイサービス事業所やタイムケア事業所の職員に出席して頂き、保護者が個別に質問したり相談する場を設け、事業所や制度について理解を深めた。

○令和4年11月17日（木） 9：30～11：30

「保護者、障がい福祉サービス事業所交流会」

市内の就労A型・B型・移行支援事業所の管理者に出席して頂き、保護者と個別の相談会を開催した。

○令和5年1月19日（木） 中止

「ライフステージごとの切れ目のない支援について」

＜子ども部会からの提案・全体会に助言を求めたいこと等＞

- ・20歳になり、障がい年金を申請する時、幼少期を振り返り記載しないといけません。保護者から書けないとよく相談を受けます。記録として残しやすい何かいい案があれば意見を頂きたい。
- ・学校を卒業後の保護者が話し合える場がほしいと言われます。子ども部会には小部会として保護者部会がありますが、成人部会にはないので、必要性について検討、助言をお願いします。
- ・東温市内に児童発達支援事業所がありません。現在は松山市内の児童発達支援事業所を利用している幼児が殆どですが、近隣市町にも児童発達の事業所は少なく空きがないのが現状です。市内に事業所を望む声が大きいです。保育士等の人材不足があり、事業所の開設は困難と検討した事業所から言われますが、今後市内に事業所を確保するにはどうしたらよいでしょうか。

## 成人部会

障がい者の生活、就労支援等に関することについて協議する部会

### <令和4年度方針>

地域生活支援拠点についての検討、事業所見学の実施及び課題の確認、市内の障がい者に必要な課題を部会員から抽出し検討する。

### ○開催（予定）日

第1回 令和4年7月5日（火）13:00～14:00

第2回 令和4年9月29日（木）13:30～14:40

第3回（今年度内に行なう予定。）

第1回 小部会（就労部会）

令和4年5月18日（水）10:00～11:15

（部会員は市内の就労継続支援A型、B型の管理者や責任者の方、下記の通り、事業所見学についての意見を伺う。）

### <協議内容>

第1回 東温市総合保健センター 3階大会議室

[協議題]

①自己紹介

②令和3年度成人部会報告

③市内の事業所見学について

・部会長より作成した年間スケジュールの通り説明を行ない、事業所見学について報告を行なう。

④今期の活動についての意見交換

・支援における権利擁護の線引きや障がい者の引きこもりの支援方法、居宅介護のみに限らず施設においても当てはまる介護員の不足、コロナ過から来る支援者や本人に由来する負担など、部会員より支援における課題を伺う。

⑤地域生活支援拠点の整備について

・市役所の河野課長補佐より地域生活支援拠点についての説明を受ける。  
基幹相談支援センターでの医療的ケアが、社会福祉法人であり、保健師は再雇用職員で保健師を所持している職員も1人なのでその職員が訪問時であったり、再雇用という立場的に対応できないことや行動障害でコミュニケーションが対応は可能なのか、医療的ケアの対応が施設によってできることが異なるので、市内の施設にも確認してそれぞれの施設がどこまで医療的ケアを対応できるかも確認をしないとイケない等の意見がある。

第2回 東温市総合保健センター 3階大会議室

[協議題]

①障がい者施設東温における日中サービス支援型共同生活援助について

・厚生労働省が都道府県に出している日中サービス支援型共同生活援助に関する書面で地方公共団体が設置する協議会等への報告・評価を受ける必要があるために、障がい者施設東温石山氏より、事業の実施状況の報告と、

日中サービス支援型共同生活援助についての説明があり、合わせての質疑応答を通してサービスの確認を行なう。

②前回頂いていた質問の引きこもりについての回答

- ・健康推進課、今津氏より説明がある。合わせて事務局から、引きこもりは障がいではないので分けて考えることを願います。

③現状報告及び意見交換

- ・事務局からは、前回集計したアンケートについてお伝えして開催方法や時間帯、取り組みたい内容についての確認を行なう。部会員からは引き続きコロナ禍での対応で難しいことがあること、作成したガイドブックを使用するの感想も伺いたいこと、権利擁護の所で利用者のための行動をしたつもりがうまく回らないことがあること、介護職員の離職率が高いことなどの意見があがる。社会福祉課からは県の福祉施設応援金のご案内などがあつた。

④その他

第1回 小部会（就労部会）（オンライン Zoom 使用）

〔協議題〕

①自己紹介

②令和3年度成人部会報告

③市内事業所見学について

- ・一昨年度からコロナの影響で進展していなかったが、子ども部会からの意見で、「見学したいがなかなか連絡をしにくい」、「過度な営業活動を受けよう」などがあがっており、気軽に見学をできる取り組みを行なってほしいとの要望があり事業所見学に対して取り組むこととなる。

小部会では事前に各事業所に配布したアンケートに基づきで年間スケジュールの作成を行ない。各事業所にも確認をしていただき、実施のためのご意見や年間スケジュールに関する修正点や追加の内容に関するご意見を頂く。参加できなかった事業所からも後日意見を伺い、再度作成を行う。この部会で事業所見学について、事業所から同意をいただき、6月21日より実施をすることとする。作成した年間スケジュールもメールで各事業所、市内の相談支援事業所へと周知を行なう。

④その他

- ・とんとこ村に4月から共同生活援助事業所ができる。それに伴い、就労継続支援B型事業所の責任者が変わるとのことで報告がある。

＜成人部会からの提案・全体会に助言を求めたいこと等＞

地域生活支援拠点の整備について、医療的ケアの面で各施設対応できる範囲が異なるのでそのあたりを確認していく必要がある。また現場の方の意見や経営陣の意見も伺う必要があるため、各施設が地域生活支援拠点を理解するための場が欲しい。

また医療の状況を見て、各機関に振り分けのできる再雇用の職員が一人のみで、その職員が訪問時であったりまた再雇用という立場的にも受けることができない。基幹相談支援センターで受けるというよりも個人で受けているような状況となっているので地域生活支援拠点の医療面での受け入れが難しい状況となっている。

## 相談支援部会

相談支援専門員の育成及び資質の向上、相談支援体制や地域におけるネットワークの構築に関することについて協議する部会

### <令和4年度の方針>

- ・制度についての知識を深める（報酬改定など）
- ・多職種連携について考える
- ・事例検討や研修を通して相談支援専門員のスキルアップを図る

### ○開催（予定）日

- 第1回 令和4年 4月13日（水）9：30～10：30
- 第2回 令和4年 6月18日（水）9：30～10：30
- 第3回 令和4年 8月10日（水）9：30～12：00
- 第4回 令和4年10月 5日（水）9：30～11：00
- 第5回 令和4年12月14日（水）9：30～10：30  
（予定）
- 第6回 令和5年 2月 8日（水）9：30～

### <協議内容>

#### 第1回

- ①近況報告
- ②意見交換（本年度の部会方針、実施したいこと、気になること）  
（部会員からの意見）

連携。相談員としてのスキルアップ（計画の立て方など）。事例検討。新規事業所情報の共有。親亡き後（後見人など）。報酬改定などの行政説明。東温市の申請の流れや必要書類の再確認。地域のニーズについて。

意見が出たことの中から今年度、部会で取り組んでいくこととなった。

#### 第2回

- ①行政説明（社会福祉課から）

相談支援事業における制度や事務手順、必要な添付書類などについて疑問に思ったことなど事前に伝え、質疑応答の形で行政からの説明を実施。

- ・行政と相談し、必要書類については表を作成することで、市の担当者や相談員が変わっても利用しやすいものとした
- ・東温市としてセルフプランは禁止しているわけではなく、利用者が希望すればどのサービス利用の場合でも選択できることを確認
- ・相談員から出た質問や市の回答を保存し、将来的にはQ&Aとして運用予定

#### 第3回

- ①協力依頼 避難行動要支援者  
優先度の高い要支援者の個別避難計画 作成協力の依頼について
- ②東温市の相談支援体制について
  - ・全国的に3層体制になっている相談支援の制度について、東温市の現状について現在の状況や課題の確認を行った。

- ・基幹相談支援センターへの事業の委託の仕方について、予算の組み方や個々の資格の用い方など、事前の相談や公表について意見があった。
- ・セルフプランについての利点欠点の整理を行い、利用者が選択肢の一つをして利用できるよう新たな書式を検討することとなった。

#### 第4回

##### ①協議（整理、検討）

##### ※セルフプランについて

- ・他市町の資料を参考に、東温市の様式について話し合う。本人や保護者が簡単に作成できるということがポイントなので、ニーズに関しての意見を集約する。該当する項目にチェックを入れるような方式で検討。具体的な書式は次回検討予定。
- ・市役所での申請時に、記入する様式が多数あり、保護者の負担となっているので、書類の簡素化についての話題が出た。
- ・市役所での申請時に、計画相談とセルフプランのどちらを希望するか、希望の確認をしてほしいという意見があった。セルフプランを希望した場合、機関や相談支援事業所、市役所窓口などにも相談先があるということに合わせて説明する必要がある。

##### ※近況や直近の困りごとについて意見交換について

- ・住まいを借りたい人がいるが保証や金銭的なことで苦戦しているケース。
- ・身元保証や死後事務のお願いのケース。
- ・療育手帳等を持たない児童がサービスを利用する場合、どこで意見書を書いてもらうのが良いかという議題があった。選択肢としては、主治医、学校の担当者など。
- ・A型事業所のクリバヤシファームが最近、B型事業所も始めたため、次号の社協だよりに掲載することを伝えることなど。

#### 第5回

##### ①協議

##### セルフプラン、自立支援協議会全体会への報告や助言について

- ・学校の先生が懇談時に福祉サービスの利用を進めることが増えており、懇談が終わった途端保護者の相談が倍増する。保護者が不安になるので、学校の先生にも、制度の学習をしてほしい。受け入れ先が少ないので、サービスの利用をあおらないでほしい。との意見が出ている。相談支援専門員と、特別支援教育のコーディネーターの連絡会が欲しい。

#### ＜相談支援部会からの提案・全体会に助言を求めたいこと等＞

- ・相談支援専門員のスキルアップの機会がないので、定期的な研修の必要性を感じているので企画したい。
- ・教育・福祉の連携がまだとりにくい状況にあると相談員から意見が出ることが多い。支援学級や通級を利用する児童生徒で福祉サービスを利用している人について定期的な情報共有の場が欲しいと感じているが、どういう手段で可能か助言が欲しい。制度やお互いの立場での情報共有や連携の仕組みづくりができないか。

- 他の部会の動きが見えにくい。他県では自立支援協議会のHPなどで情報発信を行っているところが増えている。自立支援協議会のHPを作成し、社協のブログとリンクをさせ情報発信を始めたが、今後の東温市の情報発信についてどう考えるか助言をいただきたい。
- 市内の相談支援事業所が少ない。そのうち2か所は東温市以外の計画も立てており、全体的に相談員の数少なく、市内全部のプランを立てることが難しくなっている。全国的に基本相談部分に委託費をつけたり、市に開設した場合に委託費を付けたりするなどして、誘致を図っているところもみられている。東温市で相談支援事業所を増やすためにどういう対策をすればいいか助言をいただきたい。
- 市内の相談支援専門員が少ない中で、現在セルフプランの様式の見直しをしているが、申請の段階で、計画相談の利用、セルフプランでの利用について利用者が希望できるような検討の必要性を感じる。また申請時に、記入する書類が多く、書類の記入部分を減らす取り組みはできないか。
- 学校の先生が、福祉サービスについて勉強できる場の提供と、相談支援専門員と特別支援教育のコーディネーターの連絡会の必要性を感じているが、教育の立場の方からの意見を聞かせていただきたい。